

# 市政の報告

五條市長 榎 信晴



平成18年度第2回定例会が6月5日に開会され、榎信晴市長が市政の報告を行いました。  
(抜粋)

平成18年度もすでに2か月余りが経過し、諸事業につきましては、先の3月議会において、ご議決いただきました予算に基づき精力的に進めているところであります。それでは、4月から今日までの市政の概要についてご報告申し上げます。

## 平成 17年度決算

まず、平成17年度の決算状況につきましまして、一般会計および国民健康保険ほか7特別会計において、おのおの剰余金をもちまして決算ができる見込みであります。

さらに、水道事業会計におきましても純利益を計上し、3月末日をもってすでに決算を終えております。

次に、諸事業の取り組みについてご報告申し上げます。

## 行政改革の推進

まず、本年3月議会で主要施策の取り組みのなかでも最重要課題としてご報告申し上げました「行政改革の推進」につきましては、現在、「新五條市行政改革大綱」および国の指針による「集中改革プラン」を策定するため、すべての事務事業について見直しを行っており、さらに簡素にして効率的な行政システムの実現を目指すため、行政だけでなく、市民各位と協働して行政改革を進めていく必要があることから、6月1日に「行政改革市民会議」を設置したところであります。しかし、こうしたプラン等の仕上げにかかわらず、実行できることはすくなく取り組む姿勢が大切であり、本年度ですでに、人件費や公用車の保有台数等の削減を行いました。今後引き続き限られた財源、人材等の資源を活用し、改革を進めて参る所存であります。

## 情報化の推進

次に、「情報化の推進」として取り組んで参りました、「地域インターネット基盤施設整備事業」につきましては、5月に市役所を含めた新市の主要施設や学校間等の41か所を光ファイバーで接続する工事が完了し、運用を開始したところであります。

今後、ますます加速する高度情報化に向け、情報ネットワークの拡大に鋭意取り組むとともに、情報セキュリティにつきまして強化を図って参る所存であります。

## 五條・吉野魅惑体験フェスティバル

次に、本年の春から秋にかけて、県と南和12市町村が連携して開催されます、「五條・吉野魅惑体験フェスティバル」についてであります。4月27日に五條市実行委員会を開催し、継続事業を含め、19事業の決定を行ったところであります。

ります。

その中のひとつとして、全国シェア8.9パーセントを誇る地域産業であります「日本一の柿」を多くの方々知っていただくことを目的として、柿づくり体験教室を開催する予定であります。

さらに、フィナーレ事業として、10月22日には、吉野川水辺の楽校メイン広場において、5,000人規模の集客を見込んだ大型イベントを開催し、全国に向け、地場産業や観光等のPRと事業促進につなげて参りたいと考えております。

## 道路整備事業

次に、「まちの活性化」の取り組みのうち、「道路整備事業」につきましましてご報告申し上げます。

まず、京奈和自動車道五條道路につきましましては、4月22日に五條北インターから五條インター間が暫定2車線で開通し、また、今月17日には五條インターから橋本東インター間も暫定2車線で開通する予定であります。

これにより、五條道路につきましましては、全線が開通することとなり、将来的には近畿の環状道路としての機能を果たす大変重要な道路になることを確信しております。

次に、国道24号の拡幅整備の進捗状況につきましては、関係地権者等の説明会や家屋補償調査等を17年度で終え、現在、国と連携して用地交渉を行っているところであります。また、全線1,350メートルの整備につきましても、引き続き、早期実現に向け鋭意取り組んで参る所存であります。

一方、市の幹線道路のうち、市道五條北部幹線は、京奈和自動車道五條道路の供用開始にあわせて開通する予定であります。

また、市道五條荒坂線の拡幅工事につきましても、今年度前半の完成を目指し取り組んでいるところであります。

## 街なみ環境整備事業

次に、新町地区の「街なみ環境整備事業」につきましましてご報告申